

経済界における最近の取組み状況について

2010年11月15日

(社)日本経済団体連合会

専務理事 久保田政一

1. IFRS 導入準備タスクフォースについて

- 2009年10月以降、合計10回の会合を開催（企業21社、監査法人4法人）。
 - － 初度適用、固定資産、収益認識、金融商品、連結・企業結合など
- タスクフォースにおける検討をベースに、何らかの成果の公表の方策を日本公認会計士協会とともに検討中

2. 国際的な意見発信のための取組み

- IASB 議長、IFRS 財団議長、EFRAG 副議長等との意見交換を実施
- 欧米の経済団体と連携して、IASB 議長、IFRS 財団議長への意見発信を実施（ex. 引当金）
- IASB のアウトリーチ、ワークショップ等に個別企業が参加
- IASB 公開草案へのコメントの提出（退職給付、収益認識 etc.）

3. IFRS 導入に向けた環境整備のための取組み

- 単体財務諸表のあり方に関する議論への参画
- 提言「財務報告に関わるわが国開示制度の見直しについて」を公表

以上

